# 各 位

# 平成 15 年 3 月期第 3 四半期の連結業績等の概況

会 社 名 株 式 会 社 エ フ ア ン ド エ ム (コード番号 4771 大証ヘラクレス) 本 社 大阪府吹田市江坂町 1 - 23 - 38 代表者名 代表 取締役 森中 一郎問い合せ先 取締役管理本部長 杉 浦 友 泰 T E L 06 - 6339 - 7177

### 1. 連結業績

当社の平成 15 年 3 月期第 3 四半期(平成 14 年 4 月 1 日から平成 14 年 12 月 31 日まで)における連結業績等の進捗状況について、下記のとおりお知らせいたします。

なお、本資料は、第3四半期における連結業績等の速報であることから、本資料に記載された財務諸表等の一部には正規の決算手続きを経ていないものが含まれており、これらに対する公認会計士又は監査法人の監査を受けておりません。

## (1) 平成 15年3月期第1四半期(平成14年4月1日~平成14年12月31日)の連結業績

			15年3月期第3四半期		対前年同	14年3月期第3四半期	参考		
			(当四半期)		期増減率	(前年同四半期)	前期(通期)		
売	上	驯	2,629	百万円	7.0 %	2,827 百万円	3,733 百万円		
営	業利	猒	75		66.7	45	97		
経	常利	岀	62		244.4	18	82		

## (2)部門別の売上高内訳

	15 年 3 月期第 (当四半		対前年同 期増減率	14 年 3 月期第 (前年同四		参 考 前期(通期)		
	金額(百万円)	構成比 (%)	%	金額(百万円)			構成比 (%)	
アウトソーシング 事 業	1,163	44.2	27.4	1,603	56.7	1,918	51.3	
エフアンドエムクラブ 事 業	1,088	41.4	3.3	1,053	37.3	1,429	38.3	
不 動 産   事 業	92	3.5	15.5	109	3.9	145	3.9	
その他事業	285	10.9	375.0	60	2.1	240	6.5	
合 計	2,629	100.0	7.0	2,827	100.0	3,733	100.0	

- (注)1.当四半期に係る数値について、公認会計士又は監査法人の監査を受けておりません。
  - 2. 当四半期における連結子会社は3社、持分法適用会社は1社であります。

## (3) 主な資産・負債の変動について

(単位:百万円)

項目	15年3月期第3四半期	増 減 額	前 期 末			
(資産)						
現金及び預金	211	296	507			
たな卸資産	84	50	134			
投資有価証券	367	342	709			
保険積立金	416	58	358			
(負 債)						
短期借入金	757	159	598			
その他流動負債	243	129	373			
長期借入金	1,435	406	1,841			

- (注) 1 . 主な資産・負債の変動につきましては、当第3四半期末日(平成14年12月31日)現在において、前期末日(同年3月31日)現在と比較して、総資産額の100分の1以上変動があった科目を記載しております。
  - 2.資産の主な変動は、「現金及び預金」の減少、商品販売による「たな卸資産の減少」、有価証券売却等による「投資有価証券」の減少、「保険積立金」増加等の要因により、前期末比558百万円減少し、4,892百万円となりました。
  - 3.負債の主な変動は、「短期借入金」の増加、「未払法人税等」の支払いによる減少、借入金返済による「長期借入金」の減少等の要因により、前期末比 436 百万円減少の 2,660 百万円となりました。

## 【ご参考】各四半期連結実績の推移

	15 年 3 月期第 3 四半期 (平成 14 年 10 月 1 日 ~12 月 31 日)		対前四半期 増減率	15年3月期第2四半期 (平成14年7月1日 ~9月30日)		対前四半期 増減率	15年3月期第1四半期 (平成14年4月1日 ~ 6月30日)		
売 上 高	883	百万円	8.0 %	960	百万円	22.3%	785	百万円	
営業利益	65		7.0	72		-	62		
経常利益	50		34.2	76		-	65		

### (4)第3四半期の単体業績

平成 15 年 3 月期第 3 四半期 (平成 14 年 4 月 1 日~平成 14 年 12 月 31 日)の単体業績

	15年3月期第3四半期	対前年同	14年3月期第3四半期	参考
	(当四半期)	期増減率	(前年同四半期)	前期(通期)
売 上 高	2,418 百万円	13.4 %	2,792 百万円	3,562 百万円
営業利益	66	15.1	78	138
経常利益	67	7.7	72	155

## 【ご参考】四半期毎単体実績の推移

		( W to 1/1 to 1 to 1 to 1		対前四半 増減率		15 年 3 月期第 2 四半期 (平成 14 年 7 月 1 日 ~9 月 30 日)		対前四半期増減率		15年3月期第1四半期 (平成14年4月1日 6月30日)	
売 上	高	870	百万円	11.4	%	781 百万円		2.0	%	766	百万円
営業利	益	63		425.0		12		-		8	
経常利	益	64		914.3		7		-		4	

## 2.連結業績の概況

#### (1) 売上高について

当第3四半期の売上高は2,629百万円(対前年同期比 7.0%)となりました。連結子会社を含めた新規事業売上高が対前年同期比で大きく伸びたものの、長引く不況の影響もあり、主要事業、特にアウトソーシング事業売上高が減少することとなりました。各事業の詳細につきましては、以下にあるセグメント別概況をご参照下さい。

#### (2) 売上原価及び販売費及び一般管理費ついて

当第3四半期の売上原価は800百万円、販売費及び一般管理費は1,753百万円となりました。

(注)売上原価並びに販売費及び一般管理費につきましては、今期より費用等に関する会計区分を大幅に 変更しておりますので、過去比較の参考資料として相当ではないとの判断から、対前年対比等の過 去比較は省略しております。

#### (3) 営業利益・経常利益について

当第3四半期の営業利益は75百万円(対前年同期比66.7%)経常利益は62百万円(対前年同期比244.4%)となりました。営業利益及び経常利益につきましては、前年度に発生した新規事業への研究開発費等への投資負担軽減に加え、持分法関連会社の利益加算等が、連結売上高減少をカバーすることとなりました。

## (4) アウトソーシング事業の概況

当第3四半期末(平成14年12月31日)生命保険会社営業職員会員数は26,950人(対中間期末比3,087人減)、内記帳代行会員数25,806人(対中間期末比3,010人減)、F&Mメイト会員数5,088人(対中間期末比630人減)となりました。長引く不況の影響により、生保退職及び収入の減少に伴う解約が断続的に続き各サービスとも会員数が減少する結果となりました。下期からの各種キャンペーン施策の効果から、獲得数に関しましては、当期の四半期ベース見た場合増加傾向にあり、会員数減少ペースは鈍化しているものの、会員数増加には及ばないこととなりました。

以上の結果、当第3四半期のアウトソーシング事業における売上高は1,163百万円(対前年同期比 27.4% 減)となりました。

#### (5) エフアンドエムクラブ事業の概況

### 会員事業について

当第3四半期末(平成14年12月31日)のエフアンドエムクラブ会員数は4,645社(対中間期末比 211社減)、内代理店経由会員数は100社(対中間期末比21社増)となりました。社員教育用ビデオコンテンツの会員向け貸し出しサービスを開始するなど、サービス強化を図り、会員獲得のペースは改善傾向にあるものの、会員である中小企業の経営環境は依然厳しいものがあり、会員契約継続率は71.4%(前年同期75.3%)と低迷致しました。

以上の結果、当第3四半期の会員事業による売上高は913百万円(前年同期比5.9%減) 内代理店事業売 上高は16百万円となりました。

#### ISO 支援事業について

ISO 支援事業につきましては、商品性の向上と、販路拡大を図るため、事業会社及び地方金融機関等の代理店開拓に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期の ISO 支援事業売上高は140百万円(前年同期比236.1%増)となりました。

#### イーキャリア事業について

イーキャリア事業での当第3四半期売上高は32百万円(前年同期比45.1%増)となりました。

## (6) 不動産事業について

当第3四半期における不動産事業の売上高は92百万円(前年同期比 15.5%)となりました。 なお、当事業での売上高は当社大阪本社が所在する自社保有物件からの、賃貸収入であります。

#### (7) その他事業について

その他事業につきましては、株式会社中小企業 M&A センター等の連結子会社・関連会社による 売上高等 でございます。

## 3. 当期の見通し

(1)15年3月期の連結業績予想(平成14年 4月 1日~平成 15年 3月 31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	3,684	263	86

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期)

7.277 円 06 銭

#### (2)15年3月期の単体業績予想(平成 14年 4月 1日~平成 15年 3月 31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり年間配当金						
	九工同	社中心血	二知术化	中間期末						
	百万円	百万円	百万円		円銭	円	銭		円銨	ì
通 期	3,313	200	56	0	00	4,000	00	4,000	00	

(参考) 1 株当たり予想当期純利益(通期) 4,772 円 45 銭

上記予測は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合がありますので、この業績予想に全面的に依拠して投資等の判断を行うことはお差し控え下さい。

以上